

ジャパン・ストリング・クワルテット *Japan String Quartet*



2010年3月5日 ザ・フェニックスホール公演より

1994年4月、ヴァイオリンの久保陽子と久合田緑、ヴィオラの菅沼準二、チェロの岩崎洸の4人は国際交流基金による日本文化紹介派遣事業の一環としてフランスと中近東を巡演、「クボ・クワルテット」として各地で好評を博した。この成果をもとに翌95年、「ジャパン・ストリング・クワルテット」を結成。創立時からベートーヴェンの弦楽四重奏曲の全曲演奏を目的に掲げて研鑽を積み、95年から3年間、計6回にわたり東京・津田ホールで定期公演を行った。演奏の様子がNHKで放映されるなど、多くの室内楽ファンの注目を集めた。そして2000年、彼らはベートーヴェンの魅力の新しい発見を目指し、再び弦楽四重奏曲全曲演奏に挑み始めた。この活動を軸に、異なる作曲家の弦楽四重奏の名作にも取り組み、幅広い聴衆獲得にも努めている。



久保 陽子
Yoko Kubo
(第1ヴァイオリン)

3歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科在学中に、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄に師事。1962年チャイコフスキー国際コンクール第3位、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール、ロン・ティボー国際コンクールで第2位にそれぞれ入賞後、スイスで巨匠ヨーゼフ・シゲティに師事。クルチ国際コンクール第1位。弘中孝と共に桐五重奏団、久保陽子トリオを結成し、1974年民音室内楽コンクール入賞、斎藤秀雄賞受賞。現在は、無伴奏作品のリサイタルをはじめとするソロ活動、室内楽活動に力を注いでいる。



菅沼 準二
Junji Suganuma
(ヴィオラ)

ヴァイオリンを岩崎洋三、ヴィオラを井上武雄に師事。東京芸術大学専攻科修了。巖本真理弦楽四重奏団に長く在籍、ヴィオラ奏者としての力量を認められる。第7回毎日芸術賞、芸術祭賞、レコードアカデミー賞、第22回芸術選奨文部大臣賞、モービル音楽賞、その他受賞多数。1976年から90年までNHK交響楽団首席ヴィオラ奏者を務める。1989年第9回馬賞受賞。現在、東京芸術大学名誉教授、沖縄県立芸術大学客員教授。オホーツク音楽祭 in 紋別のディレクター。



久合田 緑
Midori Kugota
(第2ヴァイオリン)

東京芸術大学付属高校を経て、同大学在学中にJ.D.ロックフェラー3世財団などのスカラシップを得て渡米。ジュリアード音楽院、インディアナ大学で学ぶ。同大学卒業後帰国し、日本テレマン・アンサンブルのソリストとして活動した後、「久合田緑弦楽四重奏団」を15年間主宰。東儀祐二、鷺見三郎、服部豊子、I. ガラミアン、J. ギンゴールド、F. グリ、I. スターンの各氏に師事。京都市立芸術大学教授を経て、2010年4月から大阪音楽大学教授。



岩崎 洸
Ko Iwasaki
(チェロ)

11歳より斎藤秀雄に師事。桐朋学園高校を経て、アメリカのジュリアード音楽院に留学。レオナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスに学ぶ。ヤング・コンサート・アーティスト・オーディションをはじめとし、カサド、チャイコフスキーなどの国際コンクールに上位入賞。沖縄ムーン・ビーチ・ミュージックキャンプ&フェスティバルのディレクター、倉敷市文化振興財団音楽プロデューサーなどを務める。現在、桐朋学園大学院大学教授。

“先生”が奏でるベートーヴェン

2012年
3月16日(金)

14:00 開演

会場 / ザ・フェニックスホール

ティータイム コンサートシリーズ [88]

ジャパン・ストリング・クワルテット コンサート

残席わずか！チケットのお求めはお早めに！

入場料 / 全指席

一般 4,000円 (友の会 3,600円) 学生券 1,000円 (限定数、当ホールのみの取扱)

曲目 / L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第7番 へ長調 作品59の1
「ラズモフスキー第1番」

:弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131

ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999 (土・日・祝を除く平日10時~17時)